

## 「平成27年度1学期始業式訓話」



皆さんおはようございます。

ここ数日の木の芽雨に、桜はすっかり散ってしまいましたが龍が山の木々の梢が華やかになってきました。今日から新しい一年が始まります。

昨年は1年間「美・技・気」の力を伸ばすように言ってきました。しかしこれらの力はすぐにつくものではありません、今年も引き続き継続して伸ばしていってもらいたいと思っています。

そこで今年は皆さんに、「継続する力」と「挑戦する力」について考えてもらいたいと思います。

昨年度末に、本校がユネスコスクールに加盟承認されたとお伝えしました。終業式の折に日々の高校生活、授業や学校行事、部活動や校外活動等とどうつながっているのか、考えてほしいと言いました。

今までの本校の取り組みが、継続可能な社会づくりの担い手を育む教育と認められたわけですが、持続可能な社会を作っていくとはどういうことでしょうか。

まず、皆さんは各教科の授業において環境問題や国際問題、エネルギー問題や食糧問題等現代社会の課題を、あらゆる面から学習しています。これらの問題は急には解決できませんが、だからといって放置は出来ません。皆さん自身が将来、解決に係わって行くこととなります。まず自分たちが係わっていくのだという意識を持つことが大切です。意識を持って授業を受けてもらいたいと思います。

次に日々の物を大切に作る姿勢や清掃活動でのゴミの細かい分別などは、環境問題の解決の一助になっています。まず出来ることから継続的に試していくことが大切なのです。もちろん部活動等で行っているボランティアや地域への貢献活動もとても大切です。なにより皆さんは小さいことにもよく気が付き、素敵な笑顔で挨拶をしてくださいます。これは他の人と共に生きる上で、とても大事なことです。自分たちの出来る範囲で、今やっていることの確認と新たに出来ることへの工夫が必要だと思います。

そして皆さんは1年次の夏休みの宿題で、JICAの国際協力エッセイコンテストに参加したり、今月の21日には台湾より国際交流でまた本校に訪問があったりと、広く世界の人たちと交流する機会が学校活動の中に沢山設けられています。昨年は模擬国連の全日本大会に3年次生のお二人が参加してくれましたが、ここでの優秀高校生はニューヨークの国連本部で開催される、国際大会に参加できるのだそうです。JICAのエッセイコンテストでも入賞すると海外に行けるのだそうですから、少し挑戦してみると、世界を経験することも可能です。

こういう本校のいろいろな取り組みが評価されたのだと思います。だからこそ皆さんに「継続する力」と「挑戦する力」をさらに磨き、継続可能な社会の担い手として、自らの未来を作っていくって欲しいと思います。今年一年笑顔を忘れず、さらに充実した時間を過ごされることを願って、1学期始業式の式辞とします。

